

標準プロセスの検討

行動指針

価値観

東京デジタルサービス行動規範（仮称）

10か条



技術
ガイドライン



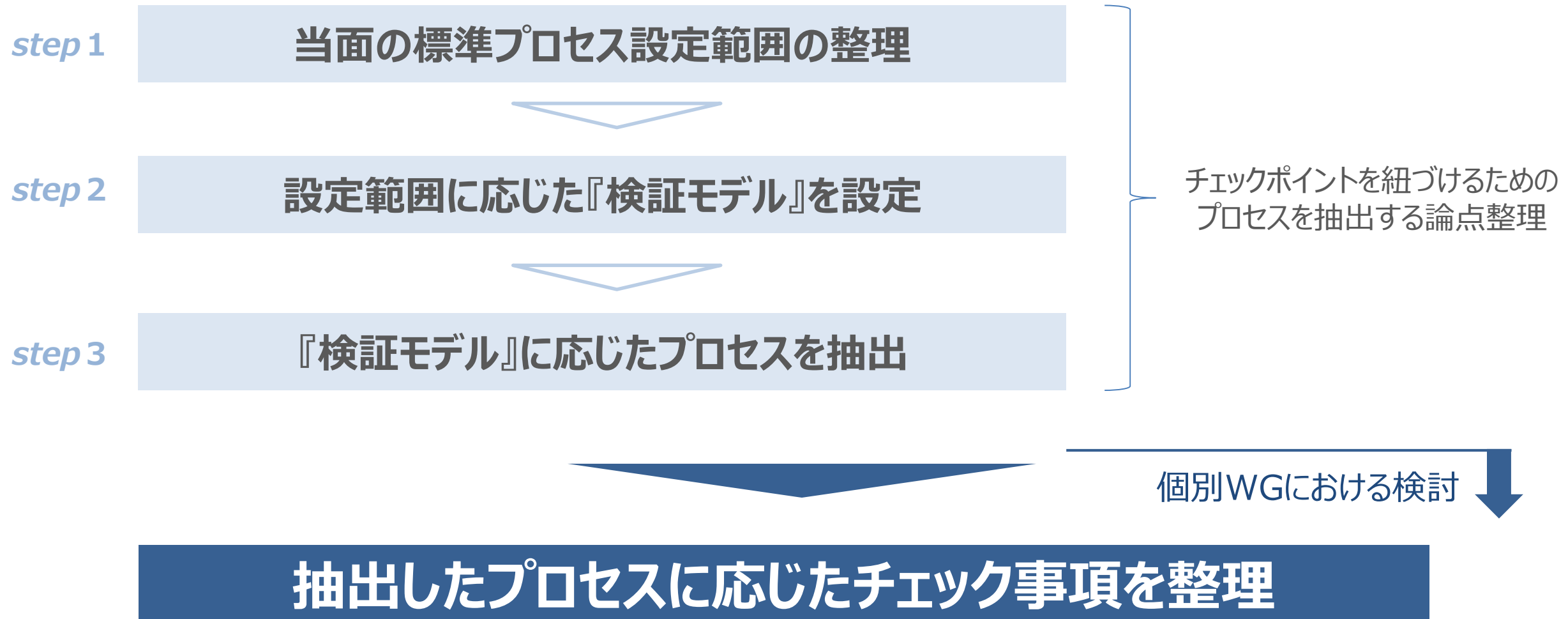
東京デジタルサービスガイドライン（仮称）

各プロセスチェック時に確認すべき技術テーマを規定

技術テーマ別の例) UI/UX、オープンデータ、オープン・ソフトウェア、データ利活用、セキュリティ、ユーザーテスト

1. 標準プロセス > 検討の概要（サマリー）

- 都がデジタルサービスの質として重要と位置付ける技術テーマ（UI/UX、データ利活用等）に関し、**職員や事業者がどのプロセスで何をチェックするかのポイントを定める**ため、標準プロセスの設定に向けた検討に着手

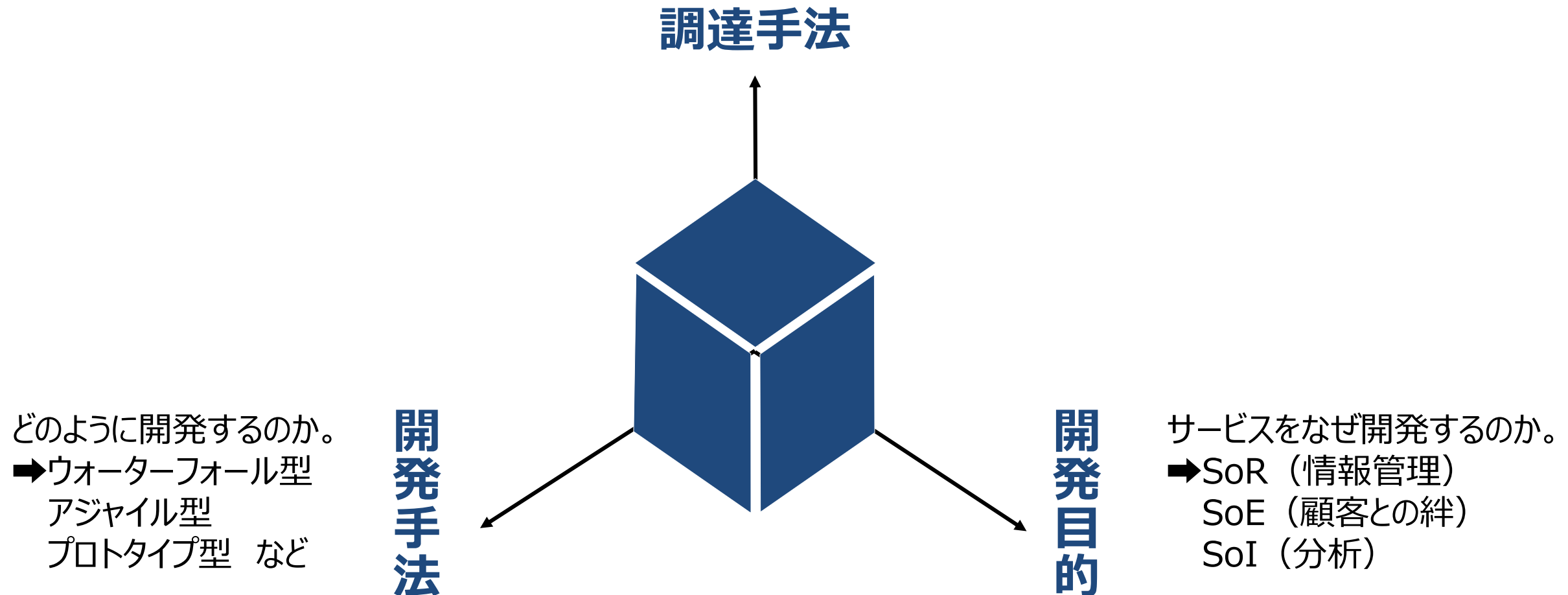


2. 標準プロセス > 当面の標準プロセス設定範囲の整理

- 都におけるデジタルサービスに関しては、サービスの性質にあわせて、開発方法・開発目的・調達手法が異なる

どのように調達するのか。

➡一部内製や委託内容の違い（開発委託・業務委託）



- システム（サービス）の目的に応じた、開発手法の選択とそれに応じた開発プロセスの標準化が必要

提供するシステム（サービス）の目的

SoR (Systems of Record)

情報の記録を主目的に構築される情報システムで、組織内部で業務の遂行のために用いられるもの

SoE (Systems of Engagement)

顧客や取引先との結びつきを強化する、あるいは絆を深めるためのもの

SoI (System of Insight)

蓄積された情報の加工や分析を通じて何らかの有用な洞察を得ることを主目的とするもの

開発手法

ウォーターフォール型

アジャイル型

プロトタイプ型

スパイラル型

DevOps

MVCモデル

標準プロセスA

標準プロセスB

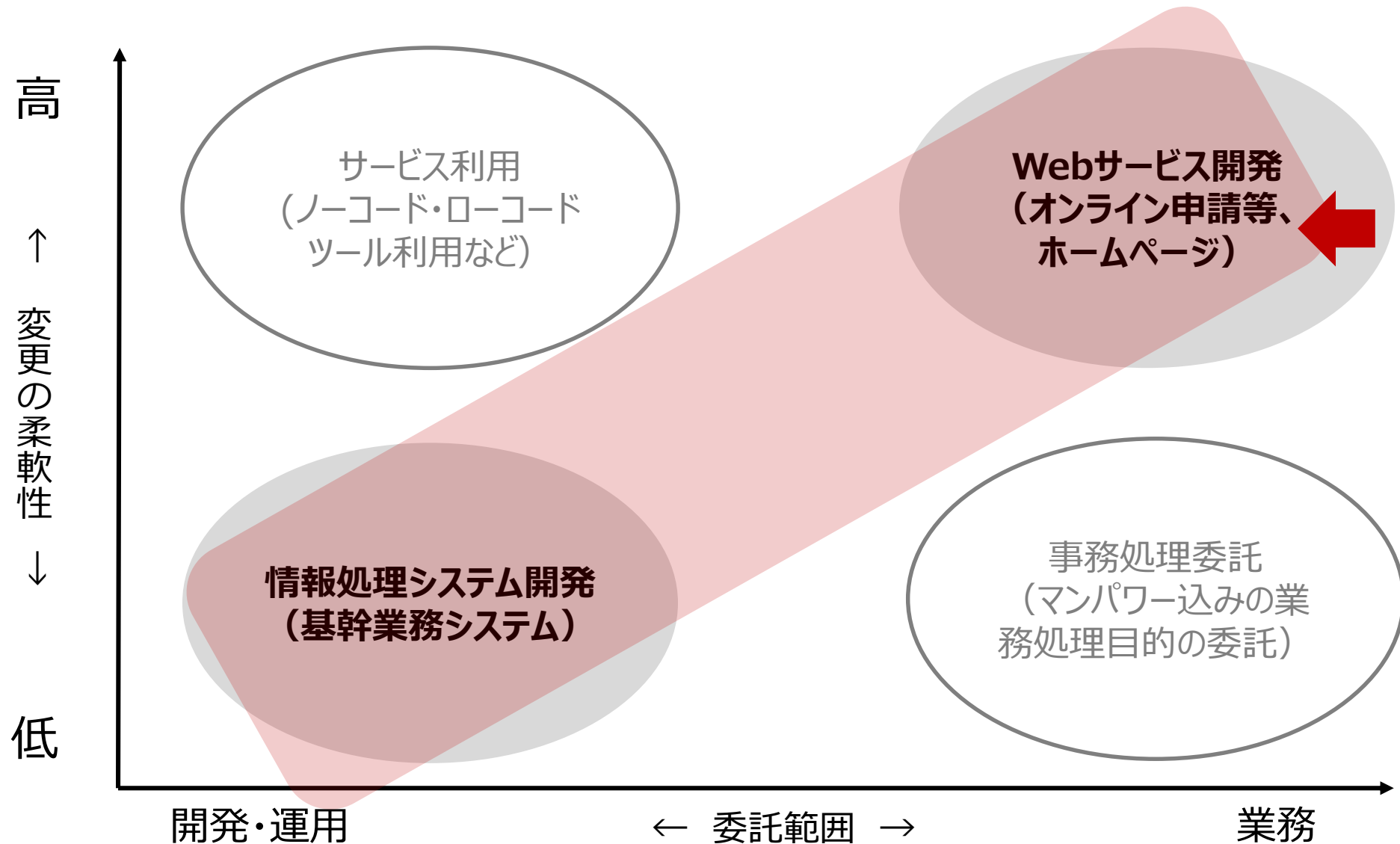
標準プロセスC

標準プロセスD

標準プロセスE

色々あると思うが
都のサービス実態を踏まえ
まずはここをフォーカス

- 都のサービスの開発運用の実態を踏まえ、プロセス設定にかかる検証モデルの優先順位を設定



都のサービス実態を踏まえ
まずはここをフォーカス

- プロセスには、『ある結果に到達するための道筋 (マネジメント)』と、『仕事や作業を進めていく順序・段階 (マニュアル)』の意味を含むが、各プロセスにおいて遵守すべきチェックポイントを明確化するという観点から、マニュアルとしてのプロセスを前提として検討する

「行程・過程」

ある結果に到達するまでの道筋

監理組織 (マネジメント)

&

「工程・手順」

仕事や作業を進めて行く順序・段階

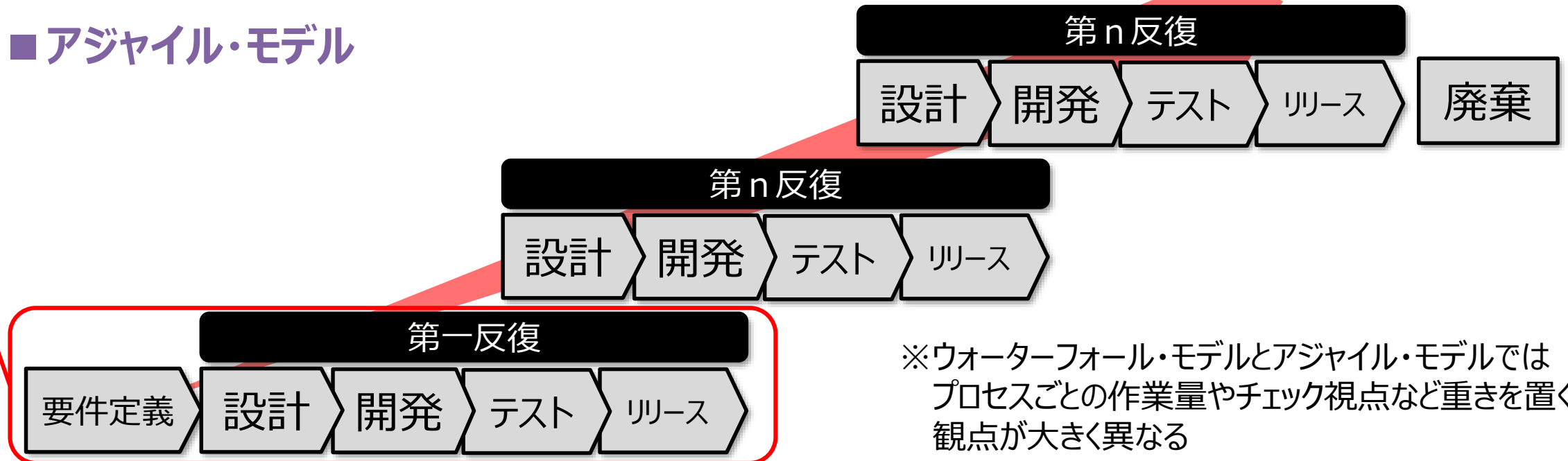
作業手順 (マニュアル)

- ウォーターフォール・モデルとアジャイル・モデルを想定したプロセスを整理

■ウォーターフォール・モデル



■アジャイル・モデル



※ウォーターフォール・モデルとアジャイル・モデルでは
プロセスごとの作業量やチェック視点など重きを置く
観点が大きく異なる

標準プロセスとして設定

Appendix : クレディセゾン DX 戦略「CSDX 戦略」より

アジャイル開発イメージ



※1イテレーション・・・チームを組み、要件定義、設計、開発、テストといった開発工程を短い間隔で反復しながら開発サイクルを繰り返すこと。

2. 標準プロセス > 各検証モデルの整理結果

検証モデル				標準プロセス	チェック・ポイント
No	分類	システム目的	開発モデル		
①	情報処理システム開発 (基幹業務システム)	SoR	ウォーターフォール・モデル	要件定義	<p>検証モデルとプロセスに応じてチェックすべき事項をWGで議論</p>
				設計	
				開発	
				テスト	
				リリース	
②-1	Webサービス開発 (オンライン申請等)	SoR SoE	ウォーターフォール・モデル アジャイル・モデル	要件定義	
				設計	
				開発	
				テスト	
				リリース	
②-2	Webサービス開発 (ホームページ等)	SoE	アジャイル・モデル	要件定義	
				設計	
				開発	
				テスト	
				リリース	

議題2の論点

- 当面は、都が提示する検証モデルをベースに検討を進めていくので良いか
- WGでの議論につなげるために、必要な観点があるか
 - ー他に考慮すべきプロセスがありそうか。
(要件定義の前のユーザリサーチ、課題分析を追加するなど)
 - ー検証モデルにより各プロセスにかける重みや意味合いに違いはありそうか。
(同じテストプロセスでも設計を忠実に検証する場合と、仮説検証が必要な場合など)

※ 今後、開発・運用体制のあるべき姿についても議論の予定